

技術の熟練を利益につなげたい

株式会社SBN 代表取締役 中岡 啓さん

指定管理を

受けておられますが

(株)SBNはリンゴ園と牡丹園の指定管理を受けています。必要経費を町から管理料として受け、売上の全額を町へ支払うという方式です。

売り上げが一定額を超えた場合には、超えた金額を会社と町で折半します。



中岡 啓さん

今年の状況は

夏がとても暑かったので、玉太りが悪いのではと心配しましたが、順調に生育し、日照時間が長かったので糖度の高いリンゴができました。

天候が良いと病気は少なくなりませんが、ダニが多くなり、今年は苦勞しました。

経費のほとんどは人件費です。しかし、人の手を掛けなければいけないのではありません。

今年は日当たりを均一にするため、球回しをして、全体に発色のいいリンゴになっています。

どんな経営をしていますか

一番大きな樹で600個くらい、ふつうの成木では200〜300個くらいの収穫です。樹は全部で800本あり、品質のいいものができる。全体の売り上げの予測ができます。

私がこの仕事について17年になります。最初は売るために苦勞しました。今は、お土産に使っていただけるようにな

って、町内の皆さんに感謝しています。

従業員をこれ以上雇用できないので、この場所で栽培面積が増やせたら、もっと売り上げを上げることができません。



出荷作業中の奥さん

経費の節減努力は

リンゴの品質を高めて価格の安定を図ることが、一番の収益確保につながります。天候不順などで収量や品質が左右されることがありますが、一人ひとりの技能を向上させるよう努力しています。

経費は、すでに絞れるだけ絞っていますので、従業員の熟練が利益につながります。特に剪定は高度な技術が要求され、経験を積むしか技術の習得方法はありません。

今月の表紙写真



リンゴ園で可愛い写真が撮れました。リンゴ狩り開園初日は天候にも恵まれ、多くの家族連れがお弁当持参で来園され、スタッフも大忙し。リンゴを頬ばり「お腹いっぱい食べたよ」と自慢げに張り切る子どもたちも。「あのリンゴがいい…」とせがむ妹に、お兄ちゃんも張り切ってもぎ取りに挑戦していました。

編集後記

稲の刈り取り時期を迎え、連日の雨、農作業の遅れに頭の痛い秋です。

台風が少ない東北、北海道では、経験のない被災で、農業被害は野菜の高値を招き、福祉施設の被害では、災害弱者への対応の難しさを見せつけられました。

いずれも地球温暖化の影響で、行政も地域もこれまでの常識を超えた対応が求められます。

さて、少子高齢化が進み「安心して暮らせる社会」が求められる中、定例議会において、地域包括ケア推進局での保険・医療・介護・福祉の官民連携の強化や病院経営の大幅な改善が報告されました。

また、10月より頓原・来島地区ではデマンド型乗合タクシーの実証運行が計画されており、買い物や通院等、利便性が図られることが期待されます。

今後とも安心して暮らせる社会の実現のため努力していきます。皆様のご意見をお寄せ下さい。

議会広報編集委員会 長島 正一